

障がい学生支援室だより

学生総合支援センター 障がい学生支援室 発行



みなさん、こんにちは。
新入生のみなさんにとっては、少し大学生活に慣れてきた頃でしょうか。学業のペースはつかめてきたので、そろそろ何か別のことを始めてみたいという方もおられるかもしれません。そんな方は、是非障がい学生支援ボランティアをやってみませんか？



障がい学生支援ボランティアのご紹介

◆障がい学生支援室のボランティア

岡山大学の障がい学生支援室は、様々な場面で障がい学生をサポートするボランティア学生の養成を行っています。障がい学生支援室のボランティア学生には、資格の有無や業務内容に応じて、バリアフリーサポーター（BFS）、ノートテイク（NT）、アクセシビリティサポーター（AS）という3種類のボランティアが存在します。

●バリアフリーサポーター（BFS）とは

障がい学生への支援活動全般を行うボランティア学生スタッフです。例えば、ノートテイク（PCテイク）活動（※1）、授業資料の拡大コピーや点訳、授業で用いるDVD（動画）の字幕作成、授業の録画作業、車いす移動介助、校内バリアチェック、障がい学生支援室の各種イベントの企画・運営等の支援活動があります。

教養教育科目の「障がい学生支援入門」【年2回開講（2学期、3学期）】を受講した上で、BFSに登録することができます。

※1：ノートテイク（PCテイク）とは

主に、聴覚に障がいをもつ学生へのサポート方法です。支援対象学生の代わりに、教員の話などを手書きでメモを取ったり、PC入力で作れるだけ忠実に文字化し、授業での情報保障を行います。

●ノートテイク（NT）とは

支援活動の中で、ノートテイク（PCテイク）活動のみを行うボランティア学生スタッフです。**障がい学生支援室が開催する「NT養成講座」を受講した上で、NTに登録することができます。**

●アクセシビリティサポーター（AS）とは

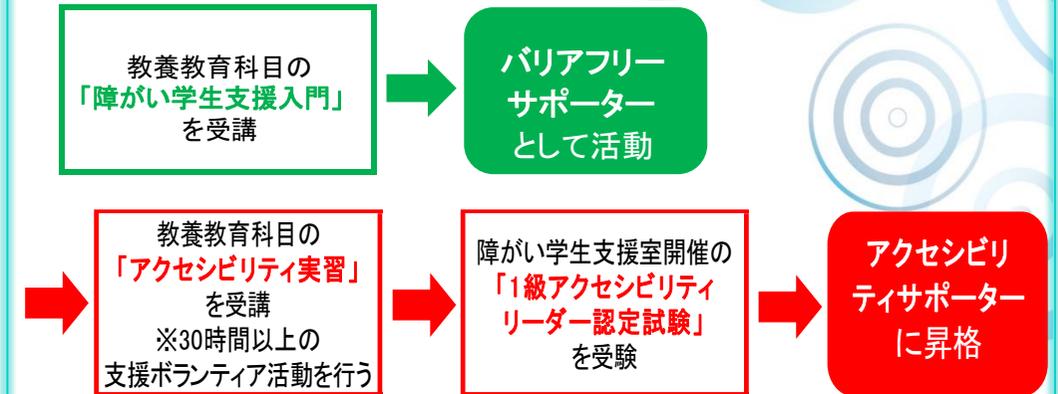
BFSが、1級アクセシビリティリーダー認定試験（アクセシビリティリーダー育成協議会が認定）（※2）に合格した場合、ASに昇格します。ASになると、BFSの行う支援活動に加え支援活動の内容がさらに広がります。また、アクセシビリティリーダーキャンプ（ALC）やアクセシビリティリーダーインターンシップ（ALI）に参加することが可能になるなど、自身のさらなる学びと成長の機会を得ることができます。

※2：アクセシビリティリーダーの資格については、【2016年5月号】をご確認ください。

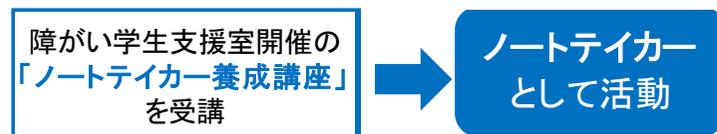
<https://www.iess.ccsv.okayama-u.ac.jp/shien/wp-content/uploads/sites/5/2>

◆ボランティア学生になるためには

●バリアフリーサポーター → アクセシビリティサポーター



●ノートテイク



お知らせ

ノートテイク(NT) 募集

支援を必要としている聴覚障がい学生 1 名には、約 20~30 名の NT が必要となります。授業等の関係で、ノートテイクを行う予定だった NT が、急遽活動できない場合も生じることがあります。安定した支援を行うために、より多くの方のご協力が必要です。

現在、1、2 限目に活動を行うことができる NT の数が不足しています！他の時限でもまだまだ不足しているので、みなさん、ぜひご協力ください！

募集対象

特に、工学部、環境理工学部、理学部、法学部の学部生・院生のみなさんを急募しています。

もちろん、他学部の方のエントリーも OK。

募集中の時間割

全時間。参加は週 1 コマから OK。(基本的に 1 コマ 2 時間)

ノートテイク手当

60 分 1,000 円の支給有。就職活動等に必要の方は、証明書を発行。

応募方法

「氏名・学部学科・学年・学生番号・連絡先メールアドレス」を障がい学生支援室 (shien-dr@okayama-u.ac.jp) まで、ご連絡ください。

報告

NT 養成講座(4月6日、19日)

障がい学生支援室では、新年度に入ってから、①4月6日(木)・②4月19日(水)の2回、NT 養成講座を開催しました。

急な案内にもかかわらず、計 10 人以上の方が養成講座を受講し、NT として登録してくれました。その中には、翌週の授業から、実際に活動してくれている NT さんもいます。

また、今回の NT 養成講座では、昨年度に 1 級アクセシビリティリーダーを取得し、現在 AS として活動してくれているボランティア学生さんが、講師を務めてくれました。

ご案内

「障がい学生支援入門」(教養教育科目)

表面にも記載しましたが、障がい学生支援室では、2 学期(火曜 5・6 限)と 3 学期(木曜 5・6 限)のそれぞれに「障がい学生支援入門」(教養教育科目、1 単位)という授業を開講しています。この授業は、様々な障がいの特性を学ぶと共に、障がいの疑似体験、支援実習等を併せて行う、講義と実習をセットにした授業となります。

障がい学生支援室の BFS として活動してもらうためには、この授業を受講してもらう必要があります。ただし、この授業を受講したからといって、必ず BFS に登録する必要があるわけではありませんので、ボランティア活動まではできないけど、障がい学生支援の内容には興味があるという方も、是非受講を検討してみてください(支援実習で用いる機器の数の都合上、定員は 40 名としています)。

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| (1) ダイバーシティとアクセシビリティ | (10) 発達障がい 2 |
| (2) ユニバーサルデザイン | (11) 発達障がい 3 |
| (3) 肢体不自由 | (12) 学内バリアチェック体験 |
| (4) 車いす体験と支援体験 | (13) 障がい学生支援におけるコーディネート業務 |
| (5) 視覚障がい | (14) 障がい学生支援におけるコーディネート演習 |
| (6) 視覚障がい疑似体験と支援体験 | (15) まとめ、試験 |
| (7) 聴覚障がい | |
| (8) 聴覚障がい疑似体験と支援体験 | |
| (9) 発達障がい 1 | |

岡山大学
学生総合支援センター
障がい学生支援室

【場 所】 一般教育棟 D 棟 1 階

【開室時間】 月～金：10:00～12:00 / 13:00～17:00

【連絡先】 086-251-8553 (支援室受付)

【E-mail】 shien-dr@okayama-u.ac.jp

